



永井 孝佳 議員



いいおかみなと公園エリアの有効活用について

問 みなと公園でイベントを実施するための要件は。

答 管理者である千葉県の許可が必要。許可の要件としては、県や市等が、直接実施するものや共催または後援を行っているものと聞いている。



いいおかみなと公園で開催された「竜王まつり」

問 市の後援の要件は非常に厳しい。まちを盛り上げる活

動を市民が自主的にやる場合に、後援を取りやすいよう要件を緩和する事はできないか。

答 要綱の中に「市長が認めた団体」があるので、設置目的や活動内容、構成員等の状況を精査した上で案件ごとに判断する。

福祉の充実について

問 身体が不自由で髪を切りにいけない人のために訪問理美容がある。訪問理美容に補助をしている自治体はあるか、県内の状況を伺う。

答 23自治体で補助を実施している。補助の内容としては出張費用の一部または全部を補助するもの、他、散髪料金の一部を補助する等様々である。

問 本市でも訪問理美容の補助を検討できないか。

答 訪問理美容の補助制度については導入の予定はないが、在宅支援の一環として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市としてどのような方法が望ましいか検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 廃校利用について
- 外国人観光客の誘致について

本市の財政状況に関して

問 本市のお金の使い方について、1人でも多くの市民に賛同してもらえようない方が重要であるが、市民の声をどのように判断しているのか。

答 市民の声を実現することは行政の基本だと考えている。市民の声、市民の声を代弁する議員の発言等、意見や要望等を可能な限り把握し、地域のバランスや行政分野を総合的に考え、事業を実施していくことが大切だと考えている。また、寄せられた意見や要望だけでなく、サイレントマジョリティ、多くの市民の声なき声もしっかり把握し、適正な財政運営に努めたい。

問 財政に関する資料は専門用語が多くわかりにくい。そこで行政用語を極力控えて、カラーイラストや図表、漫画を多用した、中学生でも理解できる財政冊子を作成し、活用する取り組みを提案する。

答 財政に関する資料は専門用語が多くわかりにくい。そこで行政用語を極力控えて、カラーイラストや図表、漫画を多用した、中学生でも理解できる財政冊子を作成し、活用する取り組みを提案する。

答 広報で家計に例えた形で表現する等、これまで分かりやすい公表に努めてきた。今後は、他団体のよい事例を参考にしながら、本市の将来を担う子どもたちにも分かりやすく公表できるように努めていきたい。ご提言に感謝する。

ふるさと納税に関して

問 ふるさと納税による寄附金は恒久的な財源ではないが、思い切った投資ができ、後世に評価される未来のための使い方が望ましいと考えている。市も、このふるさと納税を利用し、少子化対策や子育てにフォーカスした画期的な企画を打ち出すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 ふるさと応援寄附金については「教育の充実」と「市長におまかせ」を合わせると、令和4年度、5年度ともに、7割から8割の寄附額をいただいている。こうした状況を踏まえ、寄附金については、寄附者の気持ちを大切にしながら、今後も教育の充実はもとより、少子化対策や子育て支援といった分野にも活用させていただきたいと考えている。

その他の質問事項

- 森林環境譲与税に関して